

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ロブテックス

コード番号 5969 URL <http://www.lobtex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 管理本部長 (氏名) 山口 正光

TEL 072-980-1110

四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	2,608	△1.4	173	△2.1	123	△2.7	76	12.9
24年3月期第2四半期	2,645	1.5	176	△13.0	126	△15.0	67	6.8

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 47百万円 (△44.6%) 24年3月期第2四半期 86百万円 (68.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.08	—
24年3月期第2四半期	7.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%			円 銭	
25年3月期第2四半期	6,887		2,299		32.0		234.25	
24年3月期	6,915		2,275		31.6		232.08	

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 2,204百万円 24年3月期 2,184百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,920	8.9	500	14.9	370	10.1	190	△13.2	20.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	10,000,000 株	24年3月期	10,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	587,778 株	24年3月期	587,633 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	9,412,319 株	24年3月期2Q	9,412,793 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は復興需要やエコカー減税などの政策効果などにより、回復の動きが見られましたものの、欧州での景気失速、新興国における経済成長率の鈍化、領土問題に端を発する貿易への影響、円高の長期化など、景気下押し要因も多く、その先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の下、当社グループは社是である「繁栄は和にあり 信用は誠実にある」に込められた思いを見つめ直すと共に、企業体質の改善・強化を目指した中期経営計画の2年度目である2012年度の経営スローガンを「グループ全員が自らの使命を果たし 一丸となって 強い組織をつくります」とし、社員一人ひとりがそれぞれに課せられた使命・役割を着実に、確実に果たしていくことにより、組織の力を強め、真の実力を持った企業グループ体制を築くことに取り組んでまいりました。しかしながら、売上高は前年同期比1.4%減の26億8百万円（前年同期26億4千5百万円）となり、利益面では、営業利益で同2.1%減の1億7千3百万円（同1億7千6百万円）、経常利益で同2.7%減の1億2千3百万円（同1億2千6百万円）となりました。四半期純利益では、投資有価証券売却益の発生や繰延税金資産の回収可能性の見直しによる税金費用の負担軽減により、同12.9%増の7千6百万円（同6千7百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりです。

①金属製品事業

国内売上におきまして、ハンドツール部門では万力類の増加はありましたものの、景気停滞の影響により、レンチ類をはじめとする他の品種群については減少し、ファスニング部門では工業用ファスナーは厳しい状況が続いておりますが、前期に投入した新型エアリベッターの好調な販売などによりファスニングツールは増加しました。切削工具部門では新商品の投入や拡販努力により売上が増加いたしました。海外売上におきましては、アセアン諸国などの一部の地域では拡販努力により増加しましたものの、円高影響に加え、主力販売国である韓国の景気鈍化影響により、同国向けのプライヤ類及び圧着工具が減少し、総じて低調となりました。その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比1.7%減の24億8千6百万円（前年同期25億2千9百万円）となり、営業利益は賞与引当の増加を主因とした人件費増による販売費及び一般管理費の増加もあって、同10.1%減の1億1千9百万円（同1億3千2百万円）となりました。

②レジャーその他事業

ゴルフ練習場への入場者数が回復基調にあり、売上高は前年同期に比し、5.2%増の1億2千2百万円（前年同期1億1千6百万円）となり、営業利益は前年同期に発生した設備のリニューアル費用負担がなくなり、同22.0%増の5千4百万円（同4千4百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は68億8千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千7百万円減少しました。

(資産)

流動資産は前連結会計年度末比2億6千3百万円増の41億3千2百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が減少する一方で、現金及び預金やたな卸資産が増加したことによるものです。

固定資産は同2億9千万円減の27億5千5百万円となりました。これは投資有価証券の時価評価及び有形固定資産の減価償却による減少が主な要因です。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末比4億9千2百万円増の32億8千8百万円となりました。これは主に買掛金や短期借入金が増加したことによるものです。固定負債は同5億4千3百万円減の12億9千9百万円となりました。これは主に長期借入金及びリース債務の減少によるものです。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比し2千4百万円増加し、22億9千9百万円となりました。これは投資有価証券の時価評価に伴う減少はありましたが、四半期純利益の計上により増加しました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1億1千1百万円増加(前年同期9千2百万円の減少)し、14億1千7百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

たな卸資産の増加がありましたが、売上債権の減少や減価償却費の計上、税金等調整前四半期純利益の計上により、資金が3億3千9百万円増加(前年同期2億2千9百万円の増加)しました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資有価証券の売却による収入はありましたが、有形固定資産の取得を主因に、資金が4千1百万円減少(前年同期2億2千3百万円の減少)しました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

借入金の返済及びリース債務の返済並びに配当金の支払による支出を主因に資金が1億8千5百万円減少(前年同期9千8百万円の減少)しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期業績は、概ね当初に想定した範囲内で推移しており、平成24年5月11日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,305,874	1,614,338
受取手形及び売掛金	1,105,193	997,647
商品及び製品	878,933	939,800
仕掛品	265,044	264,655
原材料及び貯蔵品	209,785	207,493
その他	109,385	113,658
貸倒引当金	△4,918	△5,293
流動資産合計	3,869,297	4,132,300
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	975,391	946,847
土地	738,508	738,508
その他(純額)	770,226	748,792
有形固定資産合計	2,484,126	2,434,148
無形固定資産	46,308	37,055
投資その他の資産	515,657	284,385
固定資産合計	3,046,092	2,755,588
資産合計	6,915,390	6,887,888
負債の部		
流動負債		
買掛金	204,465	249,801
短期借入金	2,088,112	2,499,895
未払法人税等	61,418	69,792
その他	442,309	469,004
流動負債合計	2,796,304	3,288,494
固定負債		
長期借入金	1,490,119	964,746
退職給付引当金	37,381	50,977
役員退職慰労引当金	3,120	3,120
その他	313,272	281,146
固定負債合計	1,843,893	1,299,990
負債合計	4,640,198	4,588,484

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	491,045	491,045
利益剰余金	829,950	882,512
自己株式	△148,447	△148,465
株主資本合計	2,132,549	2,185,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,918	19,730
その他の包括利益累計額合計	51,918	19,730
少数株主持分	90,723	94,580
純資産合計	2,275,192	2,299,403
負債純資産合計	6,915,390	6,887,888

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,645,935	2,608,582
売上原価	1,742,412	1,685,801
売上総利益	903,523	922,780
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	240,808	242,465
その他	485,852	507,102
販売費及び一般管理費合計	726,660	749,567
営業利益	176,862	173,213
営業外収益		
受取利息	188	191
受取配当金	2,739	2,999
受取家賃	2,277	3,833
その他	7,050	3,479
営業外収益合計	12,256	10,504
営業外費用		
支払利息	37,956	36,180
売上割引	21,546	22,530
その他	3,182	1,972
営業外費用合計	62,685	60,682
経常利益	126,433	123,034
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3,388
特別利益合計	—	3,388
特別損失		
固定資産除却損	1,051	392
特別損失合計	1,051	392
税金等調整前四半期純利益	125,382	126,030
法人税等	51,165	45,651
少数株主損益調整前四半期純利益	74,216	80,378
少数株主利益	6,821	4,286
四半期純利益	67,394	76,092

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	74,216	80,378
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,052	△32,617
その他の包括利益合計	12,052	△32,617
四半期包括利益	86,268	47,761
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,261	43,904
少数株主に係る四半期包括利益	7,007	3,857

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	125,382	126,030
減価償却費	126,674	120,859
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,781	42
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1,320	13,596
受取利息及び受取配当金	△2,928	△3,190
支払利息	37,956	36,180
有形固定資産除却損	1,051	392
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,388
売上債権の増減額(△は増加)	125,799	110,388
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,963	△58,187
その他の資産の増減額(△は増加)	5,361	2,950
仕入債務の増減額(△は減少)	35,299	45,336
その他の負債の増減額(△は減少)	△56,822	28,822
小計	334,350	419,832
利息及び配当金の受取額	2,818	3,187
利息の支払額	△39,546	△37,194
法人税等の支払額	△68,241	△56,656
法人税等の還付額	—	10,356
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,381	339,524
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196,000	△600
有形固定資産の取得による支出	△26,041	△47,698
投資有価証券の取得による支出	△1,768	△1,930
投資有価証券の売却による収入	—	8,688
その他	179	△89
投資活動によるキャッシュ・フロー	△223,630	△41,630
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△180,000	73,332
長期借入れによる収入	870,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△205,404	△236,922
社債の償還による支出	△500,000	—
リース債務の返済による支出	△59,549	△48,527
自己株式の取得による支出	△93	△18
配当金の支払額	△23,532	△23,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△98,578	△185,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	△364
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△92,782	111,864
現金及び現金同等物の期首残高	1,405,368	1,305,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,312,586	1,417,738

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,529,479	116,456	2,645,935	—	2,645,935	2,645,935
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,529,479	116,456	2,645,935	—	2,645,935	2,645,935
セグメント利益	132,603	44,259	176,862	—	176,862	176,862

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	四半期連結損 益計算書計上 額(注)2
	金属製品事業	レジャーその他 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,486,069	122,513	2,608,582	—	2,608,582	2,608,582
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,486,069	122,513	2,608,582	—	2,608,582	2,608,582
セグメント利益	119,201	54,012	173,213	—	173,213	173,213

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。